

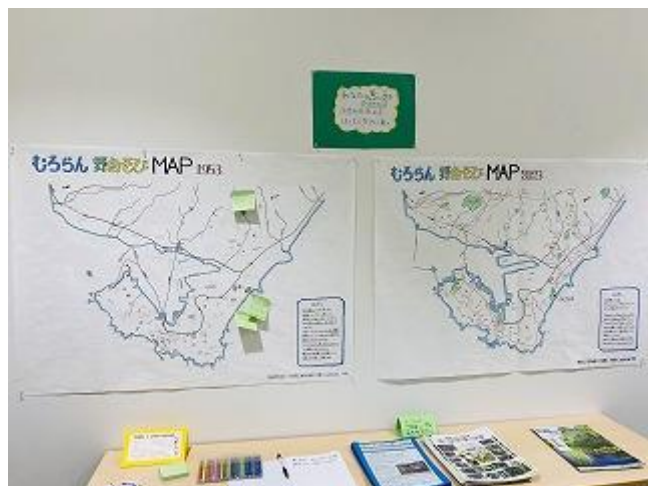
【展 示】

■ビオトープ・イタンキ 20 周年パネル展

～獲物のあるビオトープを目指して～

かつて室蘭に広がっていた自然を復元すべく潮見公園内（みゆき町）にビオトープの造成。会発足から今日までの活動20年間を振り返った年表と、ビオトープに生息、生育する動植物や四季折々の様子を、パネル45点で紹介。

期 間：1月31日（火）～2月10日（金） 最終日15時まで



■ 写真展 ^{いざな} 巨樹への誘い

幹の太さが道内最大級のミスナラ（7.8 ㍍）をはじめ近郊には、悠久の時を生き抜いてきた巨樹がたくさんあります。これらを観察・計測し、環境保全も考えようと昨年設立された「室蘭巨樹の会」が活動を広めるための写真展です。ミスナラのほか、オオヤマザクラやキハダ、カツラなど約35点を展示。樹齢を推定するコーナーもあります。

期 間：2月14日（火）～25日（土）最終日15時まで



【講座】

■巨樹への誘い ギャラリートーク

会場内の写真展に合わせ、市内で探索した巨大樹木（巨樹）を紹介し、全国でも有数の大きさと言われるミズナラ（樹高28㍎、幹周7.8㍎）について説明。「雪の重みに耐えながら長年生きてきた力強さがある」と魅力を語った。「多様な自然を保存するためにも、身近にある巨樹に親しんでほしい」と呼びかけた。

日 時：2月18日（土）・25日（土） 13時30分～14時30分

参加費：無料

講 師：室蘭巨樹の会 代表 成田 弘さん

